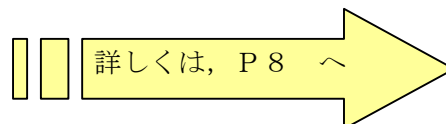


第2章 技術・家庭科（技術分野）

1 改訂の趣旨と内容について

（1）技術・家庭科（技術分野）の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。



（2）家庭科，技術・家庭科の課題及び改善の基本方針

【 家庭科，技術・家庭科の課題 】

自己と家族，家庭と社会とのつながりに目を向け，生涯の見通しをもって，よりよい生活を追求できる実践力の育成

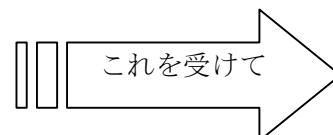
家庭の在り方や家族の人間関係，子育てについて学習し，生活における自立とともに，他の人と連携し共に生きるための知識と技術の習得

食育や消費者教育の推進

持続可能な社会の構築の観点から，資源や環境に配慮したライフスタイルの確立とともに，エネルギー資源や森林資源の有効利用など，社会で活用される様々な技術を評価・管理できる力の育成を目指した教育の充実

日本のものづくりを支える能力や技術を安全に活用できる力の育成

幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領の改善について（答申）
（平成 20 年 1 月 17 日 中央教育審議会）



改

善の基本方針

ものづくりを支える能力などを一層高めるとともに、よりよい社会を築くために、技術を適切に評価し活用できる能力と実践的な態度の育成を重視し、技術分野の目標や内容の改善を図る。

○実践的・体験的な学習活動（より一層の重視）

- ・基礎的な理解と技能を養うとともに、それらを活用して、課題を解決するために工夫し創造する能力と実践的な態度を育成する。
- ・他教科等との連携を図る。

○社会の変化への対応

- ・持続可能な社会の構築や勤労観・職業観の育成を目指し、技術と社会・環境とのかかわり、エネルギー、生物に関する内容の改善・充実を図る。
- ・情報通信ネットワークや製品の安全性に関するトラブルの増加に対応し、安全かつ適切に技術を活用する能力の育成を目指す指導を充実する。

○問題解決的な学習（より一層充実）

- ・知識と技術などを活用して、学習や実際の生活において課題を発見し解決できる能力を育成する。

○家庭・地域社会との連携

- ・学校における学習と家庭や社会における実践との結び付きに留意して内容の改善を図る。



〈技術分野の内容〉

- A 材料と加工に関する技術
- B エネルギー変換に関する技術
- C 生物育成に関する技術
- D 情報に関する技術

内容A～Dを
全ての生徒に
履修させる。

技術・家庭科では、

題 材

という。

学習指導要領において、

〈ABCD は内容〉〈(1)(2)…は項目〉〈アイ…は事項〉を表している。

※題材：各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したもの

※項目：全ての生徒に履修させる基礎的・基本的な内容

☆現代社会で活用されている多様な技術を4つの内容に整理した。

☆ものづくりを支える能力の育成を重視する。

☆実践的・体験的な学習活動を通して、A～Dの内容に関する

「基礎的な知識と技術の習得」と

「技術と社会・環境とのかかわりについて理解を深める」ことを図るとともに、

「よりよい社会を築くために、技術を適切に評価・活用する能力と実践的な態度の育成」を重視する。(制約条件の中で、最適な解決策を検討する活動)

〈指導を体系的に行うために〉

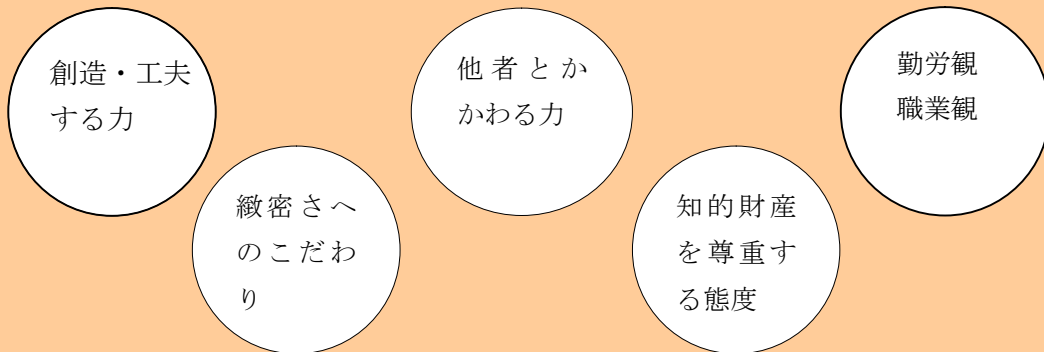
- ・ガイダンス的な内容を設定する。
「第1学年の技術分野の最初に履修させる。」
「小学校での学習を踏まえ中学校での3学年間の学習の見通しを立てさせる。」
- ・他教科等との関連を明確にし、連携を図る。

〈各内容の構成〉

- ・ものづくりなどを通して基礎的・基本的な知識と技術を習得させるとともに、これらを活用する能力や社会において実践する態度をはぐくむ視点から、それぞれの技術について以下の3つで構成する。
「基礎的な知識，重要な概念等」
「技術を活用した製作・制作・育成」
「社会・環境とのかかわり」

〈ものづくりを支える能力などの育成を重視〉

- ・以下の5つを育成する学習活動を一層充実することにより、ものづくりを支える能力などの育成を図る。



〈技術を評価・活用できる能力などの育成を重視〉

- ・安全・リスクの問題も含めた技術と社会・環境との関係の理解，技術にかかわる倫理観などの育成を目指した学習活動を一層充実する。

〈問題解決的な学習の充実〉

- ・生徒の実態に即した内容や活動を準備し，自ら課題を見だし，解決を図る学習活動をより一層充実する。

〈言語活動の充実〉

- ・ものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動の充実を図る。
- ・自分の生活における課題を解決するために言葉や図表，概念などを使用して考えたり，説明したりするなどの学習活動の充実を図る。

技

術分野の目標

(3) 技術・家庭科(技術分野)の目標

①ものづくりなどの**実践的・体験的な学習活動**を通して、②材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する**基礎的・基本的な知識及び技術**を習得するとともに、③**技術と社会や環境とのかかわり**について**理解**を深め、④**技術を適切に評価し活用する能力と態度**を育てる。

①「実践的・体験的な学習活動」とは

- ・製作，整備，操作などの実習や観察・実験，見学，調査・研究などの具体的な活動。
- 学習意欲向上の観点からも重視する。

②「知識」とは

- ・ものの性質や仕組み，もしくはそれらの理論。

「技術」とは

- ・目的を達成するために，習得した知識を適切に組み合わせて具体的な形にすること。
(その過程において，適切に工具や機器を操作することなども含んでいる。)

※将来の生活における応用・発展へとつながることが期待される知識及び技術。

「習得」とは

- ・確実な定着を図ること。

③「技術と社会や環境とのかかわりについて理解」とは

- ・技術と社会や環境とは，相互に影響し合う関係であることへの理解。
- ・技術を安全性や経済性だけでなく，環境に対する負荷等の多様な視点から評価することの意義の理解。

④「適切に評価し活用する能力と態度」とは

- ・身に付けた知識及び技術，理解に基づき，技術の在り方や活用の仕方などに対して客観的に判断・評価し，主体的に活用できるようにすること。

